

起案野紙

五九

大正五年五月三十日起案

起案者  
捺印

五月廿一日發付

發付掛  
捺印

發付後起  
案者捺印

人事局長



第一課長



局員



大正

五

次官



參事官

大正



副官

軍務局長

第一課長

局員

經理局長



第一課長



電報案

大正五年五月廿一日午後一時十分了

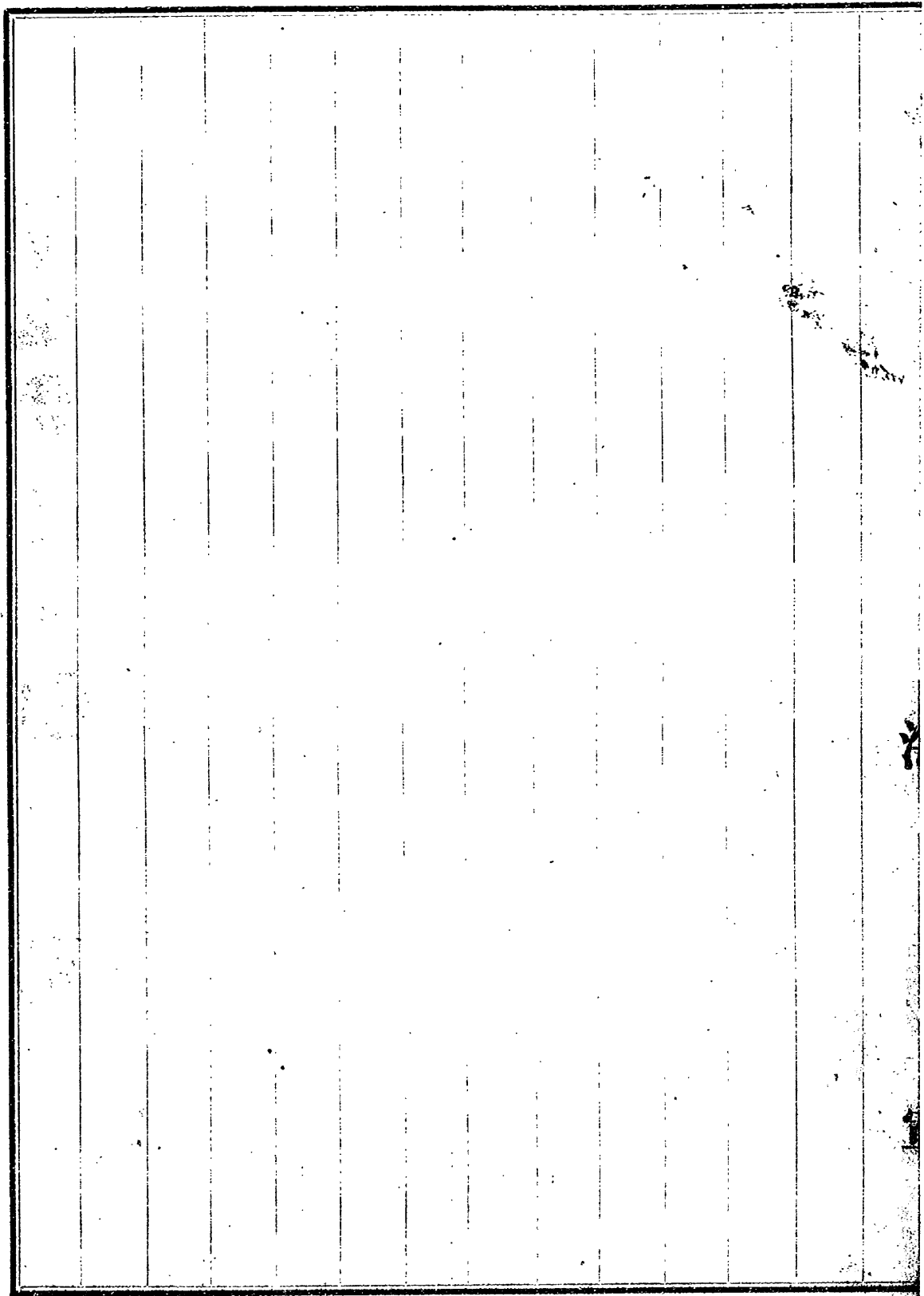
大臣

韓埼神埼望樓檢閱、爲出張、件認許ス

號番

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部	受月日	發月日

0698



0691

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

人事局

海軍

大正五年五月三十日午前九時四十五分出七保局發

發信者鎮海要港部司令官

受信者大臣

電報譯

韓崎望樓・神崎望樓檢閲、為、六月一日ヨリ往返共三日、豫定ニテ出張致、度御認許ヲ乞フ

(3)

花崎

0692

旅

第三艦隊第二四 編ノ五

大正五年六月三日 節山 海軍省

第三艦隊司令官 長官 印

海軍省人事局長 岡田 銈介 印

公務旅行 者ノ件

左記ノ者 經理部長 會議 到 席 於 大正五年五月二十  
日 於 世界 海軍 經理 部 出張 (於 佐世保) 本月二  
日 於 節山 歸 隊

第三艦隊 主計長 海軍 主計 大佐 小林 鐘治 郎

右 通 報

(終)

人 事 局 受  
五年六月 七日  
印

0693

以各  
第十一  
第三  
除左  
正十一  
海軍  
出納

手印

大正五年六月三日

海軍省人事局長 船長



海軍大佐 中山繁互

右高知縣下人出張中、定本月四日快  
右通郵下

海軍

人事局受  
大正五年六月七日



0694

手紙

海軍省 八

大正五年六月五日

秋澤彦彦總督府海軍參謀長

岡田海軍省人事局長殿

出張不在ノ件

本職參謀長會議列席ノ為メ本日出発

上京

右通報ス

海 人事 暈受

五年六月拾貳日



終

0695

手記

海人第九

大正五年六月五日

秋澤厚博總督府海軍參謀長

岡田海軍省人事局長殿

歸着ノ件

海軍少佐 松原彦介

安東總督上京ニ付隨行出張中ノ處本日

歸着

右通報ス

終

海 人事 重受

五年六月五日

0696

供



第一五二

大正五年六月廿

人事局

本局海軍省運務局長

正田海軍省人事局長

帰京件

本後麻生殿事柄は有信志保舞  
船名徳守府系、接海路、出

人事局 運務  
五年六月 八日

0697



張中委法司編年記  
松由記

天

花  
海  
集

0698

四日  
...

...

...

...

電 報 著 信 郵 政 紙

局 局	局 局	局 局	局 局	名氏所居人信受
取投者	受信	付受	第	<p style="font-size: 2em;">マ</p> <p style="font-size: 2em;">バ</p>
第一課	第二課	午後	...	
		時分	...	
		時分	...	
		時分	...	
		時分	...	

五月廿九日

舞鶴鎮守府 局長友

福島中佐 今日午後三時

五十分発 上京セム

...

...

0699

第十  
第三  
第十  
第一  
七  
七

出

海軍

第 二 八 號 之 八

大正五年 六月十日

人事局受

昭和六年六月十日

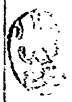
海軍省人事局長 岡田 隆介 啓

出張通報

六月四日出張 七月二十七日 海軍 少佐 北村 崇虎

六月十日出張 七月六日 出張 立川 常一

右簡南支呼執行並其具多務検査ノ為ニ  
出張ノ通知出張ス



(佐世保 駐在官印)

0700

起案罪紙

52

大正五年六月十二日起案

起案者 捺印

善

六月十五日

日發付

發付掛 捺印

小林

發付後起 案者捺印

人事局長

岡田

第一課長

局長

善

大

次官

參事官

副官

參事官

森田

軍務局長

第一課長

經理局長

勝第一課長

電報

大正五年六月十五日

六月十五日

大臣

吳鎮第二二號ノ一二〇上申ノ件認許ス

虎番

局部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受用印	六月十五日	六月十五日			六月三日								
發月日													

0701

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

燕原納

ノ

七

0702

人事局

二二二〇八一三〇

大正五年六月八日

海軍大臣加藤友三郎殿  
吳鎮守府司令長官伊地知季珍



五年六月拾貳日

人事局受

大正五年六月

出張件

本職簡閱點呼視察、為來十七日出發二  
十一日歸着、豫定、以、三重縣山田及鳥  
羽、出張致、度、候、條、御、認、許、相、成、度、  
右、上、申、ス

(印)

官房第一八六四號

0703

起案野紙

大正五年六月十四日起案

起案者 捺印

六月十五日發付

發付掛 捺印

小林

發付後起 案者捺印

(人事局長) 岡田 第一課長

局員

副官

大 次官

參事官

山縣

軍務局長 第課長 局員

經理局長

勝

第一課長

田中

電報

大正五年六月十六日午後三時五分

大臣

野母佐多望樓巡視ノ爲出張ノ件認許ス

號番

局、部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房	六房
發月日													

0704

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

汗

身

練原納

0705

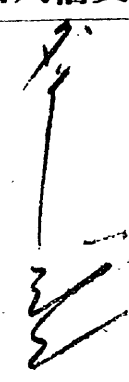


四四  
電報

一十

# 電報着信紙

四四  
一十  
部  
佐

局着		局		發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午後	第一	局	人事局	
	後	後	後	號	局	官報	
	時	分	分	日			

二十日癸廿五日陽着ノ予定  
 望橋出祝ノ中野母望橋(肥後)  
 佐多望橋(天原)ニ出張認許カ  
 二月廿五日 佐藤 可合 七名

二〇七ハツニ五七キ  
 中ノコトニ  
 一ノコトニ  
 一ノコトニ  
 一ノコトニ

定指

事記

番着 號信	數紙	名氏所居人信發
三三	三二	廿八
	號	
印附日信着		

0706

電 報 着 信 紙

四日  
 電報  
 十一日  
 四日  
 十一日  
 部  
 在館

局 着		局			發 人	名 氏 所 居 人 信 受	
取 扱 者	受 信	付 午 前 後	付 午 前 後	第 一	人事局 官報	[Handwritten signature]	
		九 時 分	九 時 分	日 號			
[Large handwritten message]					定 指	番 着 信 號	第 七 號
[Large handwritten message]					事 記	印 附 日 信 着	
[Large handwritten message]						人 事 局 受	
[Large handwritten message]						五年六月拾九日	

0707

出現

水第二三〇號

大正五年六月拾九日

釜屋水路部長

岡田海軍省人事局長



歸著ノ録

海軍大尉 島 崎村 治

右者測量ノ為ノ鹿兒島灣ニ出張中ノ處六月十七日歸著ス

右通報ス

(終)

海 人事局受 五月廿五日

0708

報 著 信 局 人 軍 務 局 報 電 供

局 着		局 發		名 氏 所 居 人 信 受	
取 報 者	受 信	付 受 午 前 後	付 受 午 前 後	第 一 課	第 一 課
軍 令 部 濟	時 分	字	分	日 局 號	局

六月二十日  
佐鎮長官  
望樓巡視、為宇治、乘艦野  
母、經、鹿見島、向、登  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

指 定

番 着 號 信	紙 數	名 氏 所 居 人 備 註
	第 一 號	廿八

附 日 信 着

印 附 日 信 着

5. 6. 22

人 事 局 受

五年六月廿四日

0709

電 報 着 信 紙

供  
覧

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取扱者	受信 午後 7時 分	受信 午後 6時 分	第 三 號	報 局	人事局	人事局受
本職出張中、處本日 付付ス 六月三十一日 吳鎮長官				定指	番着 號信	紙 第 一 六 號
				事記	印附日信着	五年六月廿貳日

0710

電報着信紙

保  
電

局 着		局 發		事務局		受信人居所氏名	
取投者	受信 午後 九時五分	受信 午後 七時五分	第一〇一	廿七	官報	[Handwritten marks]	
局 着		局 發		事務局		受信人居所氏名	
[Handwritten marks]		[Handwritten marks]		[Handwritten marks]		[Handwritten marks]	
本日 歸府ス 六月廿五日 佐世保鎮守府司令長官				定指 事記		番着 數紙 名氏所居人發 三 第 二 三 號 廿六 印附日信着	

0711

臨時南洋防務三六七號  
八月五日

臨時南洋防務三六七號

大正五年七月十五日

臨時南洋群島防備隊

海軍省人事局御中

海田

高等武官身異動通報

異動月日

異動事項

官

氏

名

七月十五日

出張中、處歸隊

大佐

野崎小十郎

海軍

0712

支 張

日 月 年 日 時 分 秒

三七一〇

大正五年七月二十六日

臨時南洋群島防備隊

海軍省人事局御中



海軍



高等武官身上異動通報

異動月日

七月八日

同日

異動事項

ホト出城七月二十六日帰隊

官

氏

名

軍區中監

加藤雄太郎

主計中監

大曲常藏



0713



紙 野 案 起

大正五年六月廿七日 起案者 六月廿七日 發付掛 發付後起  
 捺印 捺印 案者捺印

人事局長 (岡田) 第一課長 (田中) 局員 (吉)

大 起

次官 (藤) 副官 (藤) 參事官 (藤)

軍務局長 (藤) 第一課長 (藤) 局員 (藤)

經理局長 (藤) 第一課長 (藤) 局員 (藤)

電 報

大正五年六月二十七日

大 臣

徵募區及簡閱點呼視察ノ為出張ノ件認許ス

六月二十七日

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
										官房受	受月日 六月廿七日
											發月日

號番

0714

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

0715

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

手紙

人事局

大正五年三月二十六日 午後三時三十分 余部局發

發信者 豊岡第四戰隊參謀

受信者 大角副官



電報譯



司令官本日上京 二十八日午前九時

頃貴省へ赴カルル旨



海軍

0716

至急

人事局

海軍

大正五年六月二十七日午後二時五十分  
海軍局發

發信者 佐鎮長官

大臣

電報譯

徵募區及簡閱點呼視察、為來ル二十九日ヨリ約七日間香川、愛媛兩縣出張認許ヲ乞フ

(3)

花崎

0717

起案罰紙

大正五年六月廿八日起案

起案者捺印

善

六月廿九日發付

發付掛捺印

林

發付後起案者捺印

人事局長

岡田

第一課長

關

局員

善

局部

受用相替

發月日

大

次官

藤

參事官

副官

大南

藤

軍務局長

藤

第一課長

局員

藤

森

經理局長

勝

第一課長

藤

藤

電報

大正五年六月廿九日

六月廿九日早

下

大臣

望樓恒例檢閱及敬言備區域内沿岸巡視ノ為出張ノ件認許ス

號番

每

宣

0718



人事局

大正五年六月廿七日午前七時二十分  
海軍省 局長 發

海軍

發行者 馬公要港部司令官

大 臣

軍 報 譯

望樓恒例檢閲及警備區域内沿岸  
巡視ノ為七月二日ヨリ約二週間官ノ予  
定ニ出張之夕之滞認許ヲ乞フ

花崎納

0720

起案御紙

手紙

大正五年六月廿七日起案

起案者 捺印

六月二十九日發付

發付掛 捺印

小林

發付後起 案者捺印

人事局長 (岡田) 第一課長 局員

大次官

副官

參事官

參事官

軍務局長 第一課長 局員 森田

經理局長 第一課長

電報

大正五年六月二十九日

六月二十九日 大正五年六月二十九日

吳鎮第三號一二五上申一件認許ス

大臣

局部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
發月日	官房受	六ノ五											

0721



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

綴  
原  
納

0722

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

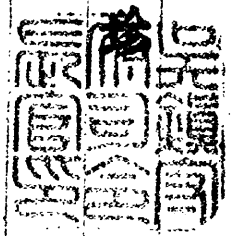
<http://www.jacar.go.jp/>

人事局

二二號ノ三五

大正五年 六月廿四日

海軍大臣加藤友三郎殿  
吳鎮守府司令長官 伊地知季



出張ノ件

本職簡閱點呼視察ノ為來七月一日出發  
今七日歸着豫定ヲ以テ米子及松江へ出  
張致度候條御認許相成度  
右 上申ス

(印)

官房第一〇五號

海軍

0723

四四+




電報

四四+

電報

電報

電報 報 信 紙

局 着		局 局		發 局		名氏所居人信受	
取 報 者	受 信	付 午 後	受 午 前	第 一 號	中 也 書	  	
	時 分	時 分	日	號	局	官 報	

定 指

事 務




本日電報局


本日香川愛媛兩縣一出

張ス

六月二十九日

佐世保鎮守村司令長官

番 着 信 號	數 紙	名氏所居人信受
第 一 號	第 五 號	サ ハ
印附日信着		人事局受
		五年六月卅日

0724

起案郵紙

大正五年 六月廿八日起案

起案者 捺印

善

六月三十日發付

發付掛 捺印

小林

發付後起 案者捺印

人事局長

岡田

第一課長

善

善

善

大

次官

副官

善

善

參事官

善

善

善

軍務局長

善

第二課長

善

善

善

善

總務局長

勝

善

善

善

善

善

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
								六月廿八日			六月廿八日	六月廿八日	六月廿八日

電報案

六月三十日

善

善

善

大正五年六月三十日

大臣

臨時南洋群島防備隊司令官宛

御用子仁木 通譯 速報 囑託 約 5 月 間 滞 在 豫 定 以 上 本 省 へ 出 頭 せ せ し

號番

0725

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

藤原納

清

貞

0726

**アジア歴史資料センター**

**Japan Center for Asian Historical Records**

<http://www.jacar.go.jp/>

人事

兼令  
三ノ

發信人 南洋防備隊副官

受信人

横鎮氣付

南洋防備隊參謀長

電文譯

月 日 午前 午後 時 分

六月二十六日 午前八時二十分

仁木通譯 勤績滿一年半トナリ 休暇ヲ其ノ  
キ時期トナリ、事務官ノ例ニ依リ 休暇ヲ得ハ  
至極好都合ナリ他ノ高等文官モ追テハ之ニ  
倣ヒ又一般判任官小學校教員其ノ他ニ對スル  
休暇實施ノ件ニ關シテハ此ノ際可然テ配慮  
ヲ得度  
右依命

人事局 係長

終

野村参謀長

0727

紙 信 着 報 電



川田  
第  
十  
三  
號

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取 扱 者	受 信	付 受 後 前	付 受 後 前	第 二 二 號	官 報
時 分	時 分	日	日	局	局
指 定		事 記		番 號	
七月一日 島根長友		島根長友 下へ出張す		第一二二號 印附日信着	
				人事局受 五年七月參日	

五  
六  
三  
四  
八  
十  
二  
年  
第  
十  
一

0728

起案 罪 紙

大正五年七月三日起案

起案者 捺印

善

七月四日發付

發付掛 捺印

水

發付後起 案者捺印

人事局長

岡田

第一課長

局員

局員

善

水

大

次官

參事官

副官

善

善

善

善

善

善

善

軍務局長

局員

第一課長

局員

局員

經理局長

勝

第一課長

局員

局員

善

善

電報

大正五年七月四日

大臣

七月四日

大要第一七五號上申、件認許ス

局部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	技本	造兵	教育	臨建	水路	軍令
受月日	七月四日												
發月日	七月	七月	七月										

0729





人事局

大正五年六月三十日

大正五年六月三十日

大湊要港部司令官土屋光金



海軍大臣加藤友三郎殿

出張件

七月七日頃より往返滞在日数甚約十日間  
豫定より警備区内函館室蘭小樽  
方面視察中加川第七師團司令部赴  
第八師團司令部赴警備事務所赴  
出張致度候條御認許相成度  
右申上

(終)

海軍

七月三日  
官房受

0731

起案郵紙

少尾

大正 年 月 日 起案 抄印 起案者 抄印 七月 四 日 發付 抄印 發付掛

車務局長

第一課長

局員

副官

大 天官

參事官

主

岡田

第一課長

局員

局長

局長

第二課長

局長

局長

局長

至急電報

佐藤長史

次官

費村港務部長より運送船が自岐ノ救難作業指揮者ニ指定  
セラルル迄至急上京セシメラレ度俵存

七月九日 早朝五時

發信

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
										7/5	官房	受月日	發月日

抄印

發付後起 案者抄印

5.7.6

政艦 5.7.6 受接

0732

椿原納

0733

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

海軍省機関局長市川清次郎  
海軍大臣加藤友三郎殿

手紙

供覽

大正五年七月四日

海軍省機関局長市川清次郎  
海軍大臣加藤友三郎殿

入申

出交

御認許之依り本口鏡海佐世保長崎徳  
山、舞鶴ニ向ヶ出交致候  
右、涉屈又

海軍局受

五年七月五日

0734

(坂田)

海軍

0735

大正五年七月四日

人事局

海軍省機関局局長吉岡保貞

岡田人事局長

出発



機関局長ニ随行本日鎮海佐世保長  
寄、徳山、吳、舞鶴ニ向ヶ出発致候  
右御届ス

送

(坂田納)

光記

大正五年

大正五年七月四日

大漢要港部司令官土屋光金

海軍省人事局長岡田啓介

公務旅行返着通報件

海軍大佐小林研藏

本部長會議列席為東京海軍省、同會議終了後事務打

合名、為横須賀鎮守府、及第三艦隊研究射擊見學為館

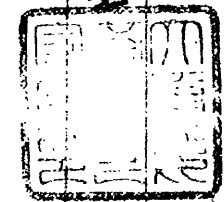
山、出張、為六月九日歸部

海軍機關中佐小川英雄

横須賀艦隊、出席、為東京海軍省、同會議終了後事務打合、為横須

賀鎮守府、出張、為六月九日返着(東京海軍省、同會議終了後事務打合、為横須)

右通部



0736

共  
十  
配  
一  
三  
三  
十  
三  
十

水第 二五六 號 一 公

大正五年七月五日

釜屋水路部長

岡田海軍省人 事務長 殿



掃 蕪 一 件

海軍省 佐 山 清 七

右者水路記事材料蒐集、為南洋群島出張

中、延七月四日掃蕪

右用 報 欠



人事局 受  
五年七月六日

海 軍



0737



報 信 紙

局 着		局 發		受 信 人 所 居 名 氏	
取 投 者	受 信	付 午 後	付 午 前	第 一	官 報
	時 分	時 分	日 號	局	
午後七時歸村ス 佐治尉官 七リ多 指 定 事 記 九				番 着 信	數 紙
				名 氏 所 居 人 僑 發	號
				印 附 日 信 着	五年七月六日 人 事 局 受

0738

三四  
 發賣  
 十  
 配

電報 報 着 信 紙

人事局

局 着		局		發		名氏所居人信受	
取投者	受信	付午後	受午前	第	三	局	官報
	時分	時分	時分	日	號		

出張中、慶本日帰  
 付  
 七月七日  
 吳鎮守村司令長官

定指	番着	數紙	名氏所居人信發
事記	植村	第四二號	印附日信着

人事局受  
 五年七月八日

0739

支

封  
一  
封

大  
一  
封

海  
軍

佐第 二八 號 三九

大正五年七月十日

人事局  
五年七月拾日

佐世保海軍人事部長 勝木源次郎

海軍省人事局長 岡田陸介

出張者 俾者 通知

人事局長 佐立川 幸一

右簡南上呼並下集了勢松壹ノ為發取並汁

獲知ハハ出張中ノ雷本俾者

右通知

(佐世保 海軍會館)

0740

立休

人事局受  
五年七月拾五日

兵學第

第 二 三

方 五 年 七 月 十 日

海軍省人軍局長殿  
海軍省人軍局長

出張件

本軍度在檢  
七、八候  
右通籍久  
古記

古記

古記

古記

青森

七月十日

八月五日

海軍省佐小森吉助

0741

仙 臺	東 京	長 野	金 沢	鹿 兒 島	高 知	名 古 屋	鳥 取	徳 島
七月十九日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十一日	七月二十一日	七月二十一日	七月二十一日	七月二十一日
八月三日	八月二日	八月二日	八月二日	八月一日	八月一日	八月一日	八月一日	八月一日
海軍少佐 大石五郎	海軍少佐 菅沼周次郎	海軍少佐 原嘉吉郎	海軍少佐 原嘉吉郎	海軍少佐 原嘉吉郎	海軍少佐 原嘉吉郎	海軍少佐 原嘉吉郎	海軍少佐 原嘉吉郎	海軍少佐 原嘉吉郎
大石五郎	菅沼周次郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎
大石五郎	菅沼周次郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎	原嘉吉郎

0742

					廣島	福岡	京都
					七月廿二日	七月廿一日	七月廿一日
					七月廿一日	八月一日	八月一日
					海軍少尉 澤田 三	海軍中佐 福村 篤男	海軍中佐 坂元 貞二
						海軍大尉 高橋 善四郎	海軍中佐 伊藤 辰雄
							島 祐吉

海軍

0743

空

供  
臣  
身

七月十三日  
日進達

吉  
幸  
七  
月  
十  
日

参謀長

人事長

副官

新山

皇紀二千五百五十七年七月十一日

横須賀鎮守府司令長官藤井毅一殿

海軍中佐 水野廣徳

人事局

出度期の変更之件

七官儀七月十八日横濱出港嵐船頭

訪九三三出度致スル旨奉答届出置

中候處回船出港期の七月二十日迄期

0744

セラし候と就テ、小官出度モ赤同日  
延期致し候  
右更ノ三御届ス

0745



390

舞人第三編之三

大正五年七月十二日

舞鶴海軍人事部長  
海軍省人事局長殿



公務旅行ノ件



事務部長 海軍少佐 安部隆吉

右の如く閣下執行官トシテ六月四日出

張富士石川福井以下出張中ノ事

本館に帰着

右通知ス



海軍

大正五年七月拾七日

0746

紙 達 送 報 局

●注意 受け取りの記入を省略したるものは受付の當日着局に於て受領したるものとす

●他人に宛てたる電報の配達を怠りたるときは其由を付録し直之を配達したる電報局所に返展せらるべく決して其受取本人へ直接シテは手渡しせざること

局 著	局 發	受 信 人 所 居 名 氏
受 信 者	第 一	人事局
付 字	九 月	
時 分	時 分	
日 號	報 局	

指 定

一五七〇  
 一四〇  
 十五日午後四時三十分上野  
 著陸定  
 七月十日  
 森 初治

事 記

發 信 人 所 居 名 氏
〇〇

書 局 日 附 印	内 三 九 三

0747